



二輪草だより

平成31年2月号
発行:二輪草センター

センターの活動予定

◆3月 下旬 二輪草プラン推進委員会議 二輪草だより3月号発行

『北海道女性医師等キャリア支援連絡協議会』を開催しました

平成31年1月24日(木)、札幌にて女性医師等キャリア支援連絡協議会を開催しました。

これは厚生労働省の委託を受けて全国の都道府県ではじまった女性医師等のキャリア支援モデル事業の一環で、北海道では旭川医大が主管施設に任命されました。実際の業務は二輪草センターが中心となって行うこととなり、今年度の会合を全道からの参加者のご都合を優先して札幌市で開催しました。

当日は道内の3医育大学、北海道、日本医師会、北海道医師会、北海道女性医師の会の代表者が集まっていただきました。冒頭で二輪草センターの取り組みを紹介し、それぞれの施設での現状をご紹介いただきました。情報交換は大変有意義で、特に他施設で有効に使っている公的資金の情報は本学でも生かしていこうと考えています。



病児一時預かり室、バックアップナース、病児・病後児保育室、カウンセリング相談 【1月20日～2月19日までの利用状況】

病児一時預かり室	依頼回数	0回	利用回数	0回
バックアップナース	依頼回数	39回	稼働回数	27回
病児・病後児保育室	依頼回数	30回	利用回数	27回
カウンセリング相談			利用回数	6回

* 病児一時預り室、病児・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます

【お問い合わせ先】 旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)

〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1

TEL 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX 0166-69-3249

開設時間8時30分～17時15分 E-mail: nirinsou@asahikawa-med.ac.jp

ホームページ <http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>



第22回 冬休みキッズスクール終了報告

平成31年1月7・8・9日の三日間、第22回冬休みキッズスクールを開催し総勢21名の子ども達が参加しました。



一日目の最初のプログラムは整形外科の佐藤達也先生による特別授業「ケガから見えるせかい」です。骨折の予防や治し方などスライドを交えながらわかりやすく教えて下さいました。また、シーネ固定の体験やボルト固定を骨の模型を使用して実際にやって見せてもらい、子ども達も興味津々な様子でした。午後からはいちご大福作りです。白玉粉に水と砂糖を加えて混ぜた後、電子レンジでチン！すると、ドロドロの液体だったものがモチモチに。あんこでいちごを包んで、さらにお餅を包んで完成です。食べる前にはアイスもトッピングして美味しくいただきました。

二日目はバスに乗って紙遊館に行きました。まず館長の余野さんに自分たちがいつも使っている紙はどのように作られているのかを教えてもらいました。その後、実際に紙を作っている工場へ。工内には普段目にする事のない機械が多くあり、稼働している様子を真剣なまなざしで見ている子ども達です。の後は手漉きハガキ作りです。牛乳パックをドロドロにしたルプを型に流し、水気を切って、アイロンをかけて乾燥させます。普段使用するハガキとは違った味のある、世界に1枚しかない自分だけのハガキを作ることができました。午後からはスタルヒン球場に行き、チューブ滑りです。深々と雪が降る中でしたが子ども達は元気いっぱい。お兄さんお姉さんと一緒に滑ったり、何人かで輪になって滑ったり、雪だらけになりながら大盛り上がりでした。



三日目は時計作りをしました。土台のボードに穴を開け折り紙やシールを貼ったり、好きな絵を描いたりして飾り付けます。時計の数字の位置を入れたり、針を付ける作業はお兄さんお姉さんに手伝ってもらいながら、それぞれ個性あふれる作品ができあがりしました。

この日の昼食は学生食堂に行きました。食券を購入してから注文し受け取るまでを自分で行います。少々緊張しながらも、好きなメニューを食べることができて満足そうな子ども達でした。午後のプログラムは学生ボランティアによる特別授業「体の怪我と心の調子」です。怪我をした時の対処法や嫌なことがあって心の調子が悪くなった時にどうしたらいいのかを、劇を交えながらユーモラスに教えてくれました。その後は体育館でゲーム遊び。チーム対抗戦ではチームごとに作戦を立てながら一致団結し、めいっぱい身体を動かして楽しみました。最後は閉校式で校長先生から終了証を受け取り三日間のキッズスクールは終了しました。

今回も学生ボランティアの皆さんには大変お世話になりました。旭川医科大学から11名、また旭川東高等学校ボランティア委員会からも6名の参加がありました。事前の準備や後片付けを含めて積極的にお手伝い頂き、子ども達と楽しく過ごして頂いた事に心より感謝致します。

また、藤井智子教授をはじめ、いつも快く開催場所をお貸し下さる看護学講座の諸先生方、ご理解・ご協力を頂いております各部署の皆様にも、心よりお礼申し上げます。

